

日医ニュース

No. 1353
2018. 1. 20

発行所 **日本医師会**
Japan Medical Association

〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16
電話 03-3946-2121(代) / FAX 03-3946-6295
E-mail wwwinfo@po.med.or.jp
http://www.med.or.jp/

毎月2回 5日・20日発行 定価 2,400円/年(郵税共)

トピックス

- 都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会 3面
- 横倉会長 UHCフォーラム 2017に出席 4面
- 勤務医のページ 8面

新春対談

横倉義武 会長

ジョアンヌ・リユー

国境なき医師団インターナショナル会長

世界の諸団体と連携して重大な問題の解決を図り 医学・医療の質と倫理の向上に努めたい



新春に当たり、今回は、ジョアンヌ・リユー（Joanne Liu）国境なき医師団（MSF）インターナショナル会長を迎え、世界医師会（WMA）とMSFそれぞれの活動と世界が抱える重大な問題、医師という職業、日本の医師が世界で果たすべき責任などについて、横倉会長と語り合っていた。

横倉 リユーMSFインターナショナル会長には、2017年3月28日に、ご訪問頂きました（本紙第1336号既報）。今回、新春対談の企画を聞いた際に、そのお相手として、真っ先に先生のお名前が頭に浮かびました。本日は、お忙しい中、本当にありがとうございます。

リユー 横倉会長、このたびのWMA会長への就任、おめでとうございます。就任早々に、私に對談の機会を与えて頂き、感謝しています。せっかくですので、初めにWMAの設立経緯などについて詳しく教えて頂

横倉 WMAは、1947年にフランスのパリで世界27カ国の医師が一堂に会し総会を開催したことを契機として設立されました。定款にはその目的として、「医学教育・医学・医療及び医の倫理における国際的水準をできるだけ高め、また世界の全ての人々を対象にしたヘルスケアの実現に努めること」を謳っています。

リユー 現在114カ国の医師会が加盟する組織となっており、これまでに人間を対象とする医学研究の倫理的原則となる「ヘルシンキ宣言」や、患者の権利に関する「リスボン宣言」などの多くの文書を採択し、公開しています。

横倉 日本は超高齢社会に突入しましたが、国民皆保険の下、全ての国民が等しく必要な医療を受けられる体制になっています。高齡化の問題は、遅かれ早かれ世界各国も避けて通れない共通の課題になると思いますが、必要な医療を受けることができない国もまだまだ少なくありません。そうした

リユー MSFは、医学的、人道的に苦境に置かれていらっしゃる方を支援の手を差し伸べることを目的に、1971年に設立されました。具体的には、人がつ

横倉 赤十字国際委員会などの諸団体は従来からWMAと密接な関係にあります。MSFの活動内容をご紹介します。

リユー MSFは、赤十字国際委員会などとは異なる立場にあり、患者や医療関係者が犠牲にならな

国々に、健康寿命をトップレベルにまで押し上げた日本の優れた医療制度を学んでいくことで世界の人々を救いたいという思いから立候補を決意しました。

2017年10月にアメリカのシカゴで開催された総会で就任式が行われたのですが、特にアジア、アフリカ、南米、日本などの国々から、日本の医療制度に対して大きな期待が寄せられており、責任の重さを改めて実感したところ

MSFを始め、赤十字国際委員会などの諸団体は従来からWMAと密接な関係にありますが、MSFの活動内容をご紹介します。

横倉 武力紛争の際に適用されるジュネーブ諸条約では、病院や医療関係者への攻撃を禁じていますが、アフガニスタンやシリアではそのような攻撃が実際に発生し、患者や医療関係者が犠牲にならな

非難の声明を発した際にも、WMAにはこれを支持して頂きました。決して起こってはならないことですが、実際には、病院や患者さん、第一線で働く医師に対する襲撃は今でも行われているわけで、WMAが声を上げて下さったことに大変感謝しています。

世界の重大な問題は医療機関への攻撃と薬剤耐性

横倉 武力紛争の際に適用されるジュネーブ諸条約では、病院や医療関係者への攻撃を禁じていますが、アフガニスタンやシリアではそのような攻撃が実際に発生し、患者や医療関係者が犠牲にならな

して、国連の決議を守るように、引き続きWMA等の協力を得ながら訴えていきたいと思っています。

横倉 日本は国際社会においても責任ある立場にあり、医療機関への攻撃については、断固許してはならないという強い思いからWMAとして賛意を示させてもらいました。

リユー 2016年5月の国連の安全保障理事会でも、改めて医療機関、医療従事者への攻撃を禁じる決議が採択されています。シリアやイエメン、南スーダンといった、現在でも紛争が続いている国々における当事者に対

医師になつたきっかけと 医師という仕事

横倉 私は、農村で育ったのですが、父は昔、海軍の軍医で、終戦後に結果、死者が出るなど、大変深刻な問題となっています。対応策としては、時間はかかりませんが、医療機関内での感染をできるだけ抑え、新たな抗生物質、診断薬を開発するしかありません。そのためにも、多くの医療関係者とのパートナーシップが重要だと思っています。また、人々が病気になるのを防ぐには、予防接種や健康診断の普及も重要です。WMAでも重大な問題と認識しており、One World, One Health（一つの世界、一つの健康）の考えの下に、2016年11月10、11の両日、福岡県北九州市内で、世界獣医師会と共同で「One Health」に関する国際会議を開催しました。

実際に、動物の感染症が人に感染する例があります。現在、動物に対する抗生物質の使い方も含め、耐性菌ができないようにするための研究も始まっていますので、いち早く成果を出せるよう、我々も協力していきたいと思っています。

（2面に続く）

(1面より)

生懸命尽くす人で、そんな親の姿を見ていましたので、私も地域医療に従事したいという気持ちで生まれたのだと思います。また、自身が盲腸炎(虫垂炎)になった際に、叔父に手術をしてもらったのですが、医療の力を感じ、私も医師になりたいという思いを強くしたことを今でも覚えて

けるのが医師だと私は思っています。 リュー会長は、医師とはどういう存在と考えていますか。 リュー 難しい質問ですね。医師は、本当に困っている患者さんの病気の状態を治すために、さまざまな技術を使って治療をするわけですが、病気を治すだけでなく、患者さんの心にまで寄り添うことが必要だと思います。そうして初めて患者さんが治療に向かうことができるのです。



ジョアンヌ・リュー

国境なき医師団 (MSF) インターナショナル会長

1965年11月4日、カナダ・ケベック市生まれ。マギル大学医学部で学び、モントリオール市の聖ジュスティヌ病院で小児科医療を専門に研修後、ニューヨーク大学医学部の小児救急医療フェローを経て、マギル大学ヘルス・リーダーシップ (Health Leadership) 国際修士課程修了。現在、モントリオール大学で准教授を務める。1996年よりMSFに参加以降、スマトラ島沖地震による津波被害を受けたインドネシア、ハイチの大地震とコレラ流行の被害者、ケニア国内のソマリア人難民への援助に従事。2013年10月から現職。2016年に再選され現在2期目。

という姿勢が必要だと思います。 リュー おっしゃるとおりだと思います。医師というのは、ただ単に医師になる教育を受けただけで済むものではなく、なれるというものは、医師になってはいけません。つまり、目の前の患者さんに対して、全人的なアプローチをしなくては

いけないので、目の前のひ世界に伝えて頂きたいと思っています。

日本の医師には、日本が学んだことを世界に伝える義務、責任があるということをぜひ認識して頂ければと思います。

特に、医療機関への攻撃をしないようにという私達の活動、また、薬剤耐性に対する活動につきましては、横倉会長のお力をお借りし、WMAを通じて、メッセージを更に広く世界に広げていきたいと思っております。

ところで、横倉会長はWMA会長という大役に就任されて、眠れない夜というようなことはなかったのですか。私は2013年にMSFインターナショナルの会長に就任した際は、そのプレッシャーで眠れない日が続きました。

横倉 ええ、多くのリストを頂いています。WMAは、スイスのジュネーブに隣接するフランスのフェルネ・ポルテアに事務局があるのですが、そこで事務総長が取りまとめてくれています。

リュー 日医会長の仕事だけでなく、WMA会長としてこれから世界を飛び回ることになると思いますが、お体には気を付けて下さい。

が、その本はベストと聞いた医師の話でした。 横倉 横倉 若手医師や、これから医師を目指す人達に伝えたいのですが、医師の仕事というのは、人を相手にする仕事ですから、まず人を好きにならなければいけません。 リュー 私は10代の頃に、アルベール・カミュが書いた『ペスト』という小説を読んだのですが、その本はベストと聞いた医師の話でした。 横倉 横倉 若手医師や、これから医師を目指す人達に伝えたいのですが、医師の仕事というのは、人を相手にする仕事ですから、まず人を好きにならなければいけません。

横倉 横倉 若手医師や、これから医師を目指す人達に伝えたいのですが、医師の仕事というのは、人を相手にする仕事ですから、まず人を好きにならなければいけません。 また、体のことや心のことなど、いろいろな悩みを持った人が多いため、寄り添いながら、一緒に解決をしていく。 病氣というのは、医師が治すのではなく、本人が治すのをサポートして

横倉 横倉 若手医師や、これから医師を目指す人達に伝えたいのですが、医師の仕事というのは、人を相手にする仕事ですから、まず人を好きにならなければいけません。 また、体のことや心のことなど、いろいろな悩みを持った人が多いため、寄り添いながら、一緒に解決をしていく。 病氣というのは、医師が治すのではなく、本人が治すのをサポートして

横倉 横倉 若手医師や、これから医師を目指す人達に伝えたいのですが、医師の仕事というのは、人を相手にする仕事ですから、まず人を好きにならなければいけません。 また、体のことや心のことなど、いろいろな悩みを持った人が多いため、寄り添いながら、一緒に解決をしていく。 病氣というのは、医師が治すのではなく、本人が治すのをサポートして

横倉 横倉 若手医師や、これから医師を目指す人達に伝えたいのですが、医師の仕事というのは、人を相手にする仕事ですから、まず人を好きにならなければいけません。 また、体のことや心のことなど、いろいろな悩みを持った人が多いため、寄り添いながら、一緒に解決をしていく。 病氣というのは、医師が治すのではなく、本人が治すのをサポートして

横倉 横倉 若手医師や、これから医師を目指す人達に伝えたいのですが、医師の仕事というのは、人を相手にする仕事ですから、まず人を好きにならなければいけません。 また、体のことや心のことなど、いろいろな悩みを持った人が多いため、寄り添いながら、一緒に解決をしていく。 病氣というのは、医師が治すのではなく、本人が治すのをサポートして

横倉 横倉 若手医師や、これから医師を目指す人達に伝えたいのですが、医師の仕事というのは、人を相手にする仕事ですから、まず人を好きにならなければいけません。 また、体のことや心のことなど、いろいろな悩みを持った人が多いため、寄り添いながら、一緒に解決をしていく。 病氣というのは、医師が治すのではなく、本人が治すのをサポートして

横倉 横倉 若手医師や、これから医師を目指す人達に伝えたいのですが、医師の仕事というのは、人を相手にする仕事ですから、まず人を好きにならなければいけません。 また、体のことや心のことなど、いろいろな悩みを持った人が多いため、寄り添いながら、一緒に解決をしていく。 病氣というのは、医師が治すのではなく、本人が治すのをサポートして

横倉 横倉 若手医師や、これから医師を目指す人達に伝えたいのですが、医師の仕事というのは、人を相手にする仕事ですから、まず人を好きにならなければいけません。 また、体のことや心のことなど、いろいろな悩みを持った人が多いため、寄り添いながら、一緒に解決をしていく。 病氣というのは、医師が治すのではなく、本人が治すのをサポートして

横倉 横倉 若手医師や、これから医師を目指す人達に伝えたいのですが、医師の仕事というのは、人を相手にする仕事ですから、まず人を好きにならなければいけません。 また、体のことや心のことなど、いろいろな悩みを持った人が多いため、寄り添いながら、一緒に解決をしていく。 病氣というのは、医師が治すのではなく、本人が治すのをサポートして

横倉 横倉 若手医師や、これから医師を目指す人達に伝えたいのですが、医師の仕事というのは、人を相手にする仕事ですから、まず人を好きにならなければいけません。 また、体のことや心のことなど、いろいろな悩みを持った人が多いため、寄り添いながら、一緒に解決をしていく。 病氣というのは、医師が治すのではなく、本人が治すのをサポートして

横倉 横倉 若手医師や、これから医師を目指す人達に伝えたいのですが、医師の仕事というのは、人を相手にする仕事ですから、まず人を好きにならなければいけません。 また、体のことや心のことなど、いろいろな悩みを持った人が多いため、寄り添いながら、一緒に解決をしていく。 病氣というのは、医師が治すのではなく、本人が治すのをサポートして

横倉 横倉 若手医師や、これから医師を目指す人達に伝えたいのですが、医師の仕事というのは、人を相手にする仕事ですから、まず人を好きにならなければいけません。 また、体のことや心のことなど、いろいろな悩みを持った人が多いため、寄り添いながら、一緒に解決をしていく。 病氣というのは、医師が治すのではなく、本人が治すのをサポートして

横倉 横倉 若手医師や、これから医師を目指す人達に伝えたいのですが、医師の仕事というのは、人を相手にする仕事ですから、まず人を好きにならなければいけません。 また、体のことや心のことなど、いろいろな悩みを持った人が多いため、寄り添いながら、一緒に解決をしていく。 病氣というのは、医師が治すのではなく、本人が治すのをサポートして

横倉 横倉 若手医師や、これから医師を目指す人達に伝えたいのですが、医師の仕事というのは、人を相手にする仕事ですから、まず人を好きにならなければいけません。 また、体のことや心のことなど、いろいろな悩みを持った人が多いため、寄り添いながら、一緒に解決をしていく。 病氣というのは、医師が治すのではなく、本人が治すのをサポートして

横倉 横倉 若手医師や、これから医師を目指す人達に伝えたいのですが、医師の仕事というのは、人を相手にする仕事ですから、まず人を好きにならなければいけません。 また、体のことや心のことなど、いろいろな悩みを持った人が多いため、寄り添いながら、一緒に解決をしていく。 病氣というのは、医師が治すのではなく、本人が治すのをサポートして

横倉 横倉 若手医師や、これから医師を目指す人達に伝えたいのですが、医師の仕事というのは、人を相手にする仕事ですから、まず人を好きにならなければいけません。 また、体のことや心のことなど、いろいろな悩みを持った人が多いため、寄り添いながら、一緒に解決をしていく。 病氣というのは、医師が治すのではなく、本人が治すのをサポートして

横倉 横倉 若手医師や、これから医師を目指す人達に伝えたいのですが、医師の仕事というのは、人を相手にする仕事ですから、まず人を好きにならなければいけません。 また、体のことや心のことなど、いろいろな悩みを持った人が多いため、寄り添いながら、一緒に解決をしていく。 病氣というのは、医師が治すのではなく、本人が治すのをサポートして

横倉 横倉 若手医師や、これから医師を目指す人達に伝えたいのですが、医師の仕事というのは、人を相手にする仕事ですから、まず人を好きにならなければいけません。 また、体のことや心のことなど、いろいろな悩みを持った人が多いため、寄り添いながら、一緒に解決をしていく。 病氣というのは、医師が治すのではなく、本人が治すのをサポートして

横倉 横倉 若手医師や、これから医師を目指す人達に伝えたいのですが、医師の仕事というのは、人を相手にする仕事ですから、まず人を好きにならなければいけません。 また、体のことや心のことなど、いろいろな悩みを持った人が多いため、寄り添いながら、一緒に解決をしていく。 病氣というのは、医師が治すのではなく、本人が治すのをサポートして



日本の医療の素晴らしさを世界に伝える責任

いい いりょう
11月1日は「いい医療の日」

日医では、11月1日を「いい医療の日」として、より良い医療の構築に向けて、国民の皆さんと考える日とすることを提案しています。(日本記念日協会から認定を受けました)

平成29年度都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会

医療事故紛争の防止に向けた 取り組みを協議



し、(1) 前医の診療内容に對して一方的に批判しない、不用意な発言を控える、(2) 患者・家族の苦情に對して、初期対応を丁寧にする、(3) 当事者である医師等が苦情内容を真摯に受け止め、再発防止に生かすことが求められると述べた。

橋本雄幸東京都医師会理事は、医療機関に對する患者やその家族等からのクレーム(過剰・不適切要求行為) 対応により医療業務が阻害される問題が少なくないことから、都医師会が会員支援として、平成28年10月、平成29年9月の1年間試行的に実施した、病院でのトラブルに對した実績のある警察OBを活用した医療業務阻害對対応策について紹介した。

具体的には、(1) 警察OBが24時間対応する相談窓口(何度でも電話相談が可能)、(2) 状況に応じて、警察OBが個別訪問し、現場支援(実費負担有) も行う等のサービスを提供するもので、相談件数は63件(うち現場対応3件) あったことを報告。

また、その内容は、「不当な処方・要求」「診療内容へのクレーム」「予約トラブル」などであり、医療機関からの評価は、「不測の事態時の後ろ盾として安心できる」「親身・的確なアドバイスで心強かった」など91%が「とても良いと思う」との回答であったとした。

その上で、同理事は「診療所、クリニックからの相談が圧倒的に多いことから、スタッフが少なく、他にも相談することができない先生にとっては有用なサービスではないか」と述べた。

続いて、手塚一男日医参与/弁護士が「医療紛争に關する文書と裁判所の提出義務」と題して、日医賠償責任に關する各種文書の法律的な位置づけについて講演した。

民事訴訟では除外事由

(1) 内部文書性 (2) 不利益性 (3) 特段の事情) を除いて一般的には文書提出義務があるとした上で、医療紛争に關する文書は「外部に開示することが予定されていない(内部文書性)」「開示することで所持者の側に看過しがたい不利益が生じる(不利益性)」などの理由から、文書提出命令に依りなくともよいとした最高裁判所の判例を紹介。「今後訴訟の過程で文書提出命令が出る可能性は否定できないが、審査会の回答を含めて日医付託事例関連書類の提出義務はない」との見解を示した。

その他、事務局からは、最近の付託事例として特徴的な高齢者医療に關する医療紛争の具体的な事例の紹介があった。

長寿化に伴い、特に85歳以上の超高齢者で介護施設等入所者の医療紛争に關して、「すぐに医療機関に連れて行かなかった」「高次医療機関への転送が遅れた」などの理由から、責任を問われるケースが増加していることを報告。その背景には、施設や医療機関に對する過度な期待があり、このような事例は今後も増加することが予想されるとした上で、施設協力医が医療紛争に巻き込まれないためにも、病状(健康状態)、治療方針、投薬、容体急変時の対応・方針などについて、施設入所者(患者) だけでなく、家族への十分な説明と理解を得ることが重要になるとした。

質疑応答では、参加者からの多数の質問・要望等に、それぞれ回答が行われた。

出席者は123名。また、テレビ会議システムにより12の県医師会に中継を行った。

平成29年度都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会が昨年12月7日、日医会館小講堂で開催された。

市川朝洋常任理事の司会で開会。冒頭のあいさつで横倉義武会長は、都道府県医師会の日医賠償責任制度の円滑な運用と事故防止、医療安全に對するさまざまな取り組みにより来年度から医賠

責保険料を改定し、若手勤務医の会費を大幅に引き下げることが可能になったとして謝意を表明。その上で、「医賠償責任制度は不幸にして医療事故が発生した際の『安心の支柱』であり、会員が安心して医療が行えるよう引き続き努力していく」と述べた。

続いて、市川常任理事から、日医賠償責任制度の運営に關する経過及び医賠償保険料の改定に對して報告が行われた。

次に、「医療事故紛争防止のための患者さん対応」について、まず、樋口俊寛愛知県医師会理事が、県の委託事業として実施する愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)の活動

防止のための患者さん対応について、まず、樋口俊寛愛知県医師会理事が、県の委託事業として実施する愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)の活動の主な要因であると指摘

示した。

また、医事紛争防止に向けた対応については、「後医の発言・診断」「医事紛争発生後の病院・医師の対応」等が医事紛争の主な要因であると指摘

した。

また、その内容は、「不当な処方・要求」「診療内容へのクレーム」「予約トラブル」などであり、医療機関からの評価は、「不測の事態時の後ろ盾として安心できる」「親身・的確なアドバイスで

心強かった」など91%が「とても良いと思う」との回答であったとした。

その上で、同理事は「診療所、クリニックからの相談が圧倒的に多いことから、スタッフが少ない、他にも相談することができない先生にとっては有用なサービスではないか」と述べた。

続いて、手塚一男日医参与/弁護士が「医療紛争に關する文書と裁判所の提出義務」と題して、日医賠償責任に關する各種文書の法律的な位置づけについて講演した。

民事訴訟では除外事由

(1) 内部文書性 (2) 不利益性 (3) 特段の事情) を除いて一般的には文書提出義務があるとした上で、医療紛争に關する文書は「外部に開示することが予定されていない(内部文書性)」「開示することで所持者の側に看過しがたい不利益が生じる(不利益性)」などの理由から、文書提出命令に依りなくともよいとした最高裁判所の判例を紹介。「今後訴訟の過程で文書提出命令が出る可能性は否定できないが、審査会の回答を含めて日医付託事例関連書類の提出義務はない」との見解を示した。

その他、事務局からは、最近の付託事例として特徴的な高齢者医療に關する医療紛争の具体的な事例の紹介があった。

長寿化に伴い、特に85歳以上の超高齢者で介護施設等入所者の医療紛争に關して、「すぐに医療機関に連れて行かなかった」「高次医療機関への転送が遅れた」などの理由から、責任を問われるケースが増加していることを報告。その背景には、施設や医療機関に對する過度な期待があり、このような事例は今後も増加することが予想されるとした上で、施設協力医が医療紛争に巻き込まれないためにも、病状(健康状態)、治療方針、投薬、容体急変時の対応・方針などについて、施設入所者(患者) だけでなく、家族への十分な説明と理解を得ることが重要になるとした。

質疑応答では、参加者からの多数の質問・要望等に、それぞれ回答が行われた。

出席者は123名。また、テレビ会議システムにより12の県医師会に中継を行った。

することが予想されるとした上で、施設協力医が医療紛争に巻き込まれないためにも、病状(健康状態)、治療方針、投薬、容体急変時の対応・方針などについて、施設入所者(患者) だけでなく、家族への十分な説明と理解を得ることが重要になるとした。

質疑応答では、参加者からの多数の質問・要望等に、それぞれ回答が行われた。

出席者は123名。また、テレビ会議システムにより12の県医師会に中継を行った。

日医 定例記者会見

平成29年12月20日

医師資格証に関する 厚生労働省通知について



石川広己常任理事は、日本医師会(電子認証センター)が発行する「医師資格証」に關する厚生労働省通知について説明した。

「医師資格証」は、厚生労働省が定める「保健医療

福祉分野PKI認証局(HPKI) 証明書ポリシー」という基準に則って運営されている認証局である日医電子認証センターが医師免許証の原本や運転免許証・住民票等を確認した上で発行しているもので、カード型で携帯性に優れ、顔写真付きで本人確認も容易に行えるという機能性を持った身分証である。

表面及び裏面に偽造防止対策が施してあり、I

「公益社団法人日本医師会が発行する医師資格証の提示による医師の資格確認について」という通知が平成29年12月18日付で发出されたため、採用時に「医師資格証」を提示することで「医師免許証と同様に医師資格を確認してもよい」ことになったと説明。

今後は、医師の採用時にとどまらず、往診時の駐車票(駐車禁止等除外標準)の交付申請時や、救急・災害現場等での医療支援の際など、より広くさまざまな場面で「医師資格証」による資格確認ができるよう、関係各方面へ働き掛けを進めていく意向を示した。

横倉会長

UHCフォーラム2017に出席
世界医師会長としての決意を改めて示す



「UHCフォーラム2017」が昨年12月13、14の両日、日本政府、世界銀行、世界保健機関(WHO)、国連児童基金(UNICEF)、UHC2030、国際協力機構(JICA)の共催により、都内のホテルで開催された。

「UHCフォーラム2017」が昨年12月13、14の両日、日本政府、世界銀行、世界保健機関(WHO)、国連児童基金(UNICEF)、UHC2030、国際協力機構(JICA)の共催により、都内のホテルで開催された。

「UHCフォーラム2017」が昨年12月13、14の両日、日本政府、世界銀行、世界保健機関(WHO)、国連児童基金(UNICEF)、UHC2030、国際協力機構(JICA)の共催により、都内のホテルで開催された。

「UHCフォーラム2017」が昨年12月13、14の両日、日本政府、世界銀行、世界保健機関(WHO)、国連児童基金(UNICEF)、UHC2030、国際協力機構(JICA)の共催により、都内のホテルで開催された。

「UHCフォーラム2017」が昨年12月13、14の両日、日本政府、世界銀行、世界保健機関(WHO)、国連児童基金(UNICEF)、UHC2030、国際協力機構(JICA)の共催により、都内のホテルで開催された。

「UHCフォーラム2017」が昨年12月13、14の両日、日本政府、世界銀行、世界保健機関(WHO)、国連児童基金(UNICEF)、UHC2030、国際協力機構(JICA)の共催により、都内のホテルで開催された。

「UHCフォーラム2017」が昨年12月13、14の両日、日本政府、世界銀行、世界保健機関(WHO)、国連児童基金(UNICEF)、UHC2030、国際協力機構(JICA)の共催により、都内のホテルで開催された。



テドロス WHO 事務局長と

「UHCフォーラム2017」が昨年12月13、14の両日、日本政府、世界銀行、世界保健機関(WHO)、国連児童基金(UNICEF)、UHC2030、国際協力機構(JICA)の共催により、都内のホテルで開催された。

One Health International Conference 2017 (バンコク) に出席

横倉会長



「UHCフォーラム2017」が昨年12月13、14の両日、日本政府、世界銀行、世界保健機関(WHO)、国連児童基金(UNICEF)、UHC2030、国際協力機構(JICA)の共催により、都内のホテルで開催された。

「UHCフォーラム2017」が昨年12月13、14の両日、日本政府、世界銀行、世界保健機関(WHO)、国連児童基金(UNICEF)、UHC2030、国際協力機構(JICA)の共催により、都内のホテルで開催された。

「UHCフォーラム2017」が昨年12月13、14の両日、日本政府、世界銀行、世界保健機関(WHO)、国連児童基金(UNICEF)、UHC2030、国際協力機構(JICA)の共催により、都内のホテルで開催された。

キーワード

UHCとは

Universal Health Coverageの略。全ての人が適切な予防、治療等の保健医療サービスを、必要な時に支払い可能な費用で受けられる状態を指す。

縦書きの連絡先情報: 総務課(人事・労務) 03-3942-6493, 総務課 03-3942-6481, 総務課 03-3942-6477, 施設課 03-3942-7027, 経理課 03-3942-6486, 広報課 03-3942-6483, 情報システム課 03-3942-6490, 介護保険課 03-3942-6491, 年金 税制課 03-3942-6487, 生涯教育課 03-3942-6139, 編集企画室 03-3942-6488, 日本医学会 03-3942-6140, 情報サービス課 03-3942-6482, 医学図書館 03-3942-6489

第1回日本医療研究開発大賞 表彰式が開かれる



第1回日本医療研究開発大賞の表彰式が昨年12月13日、総理官邸で開催され、横倉義武会長が出席した。

本賞は平成28年11月、横倉会長が安倍晋三内閣総理大臣と会談した際、医療研究者等を顕彰する参加した。

その結果、健康・医療戦略推進本部長(内閣総理大臣)賞には田中啓二、東京都医学総合研究所理事長、健康・医療戦略推進本部長(健康・医療戦略担当大臣)賞には大塚製薬がそれぞれ選ばれた。田中理事長は、タンパク質分解装置である「プロテアソーム」を発見し、その構造と機能の解明に尽力。プロテアソームに対する分子標的薬を含めた抗がん剤開発の先駆けとなった。

たばこ臭

最近、私の鼻は高感度たばこセンサーのようだ。10年ほど前からたばこ臭が気になり始め、今ではわずかなたばこ臭も逃さないで、家族あるいは本人が喫煙している患者さんは診察室に入る

とすぐに分かり、喫煙を指摘すると驚かれることがある。本人はたばこ臭を纏っていることに気づかないのだ。

昔は世間なたばこの煙があふれており、喫煙の慣れ現象のためか、たばこ臭を気にすることはなかった。



医学部2年の頃にたばこをやめたが、飲食店で周囲の友がたばこを吸う中で、付き合いが悪いと言われながらも禁煙を通じた。

ともある。

禁煙後、喫煙の被害を相当受けていたに違いない。

禁煙後、喫煙の被害を相当受けていたに違いない。私に限らず、たばこ臭の中で、つまり日常的にたばこの煙が充満する空間で日本人はずっと生活

してきたのだから今後どのような健康被害が起きるのか未だ恐ろしい。わずかなたばこ臭が気になるようになったという事は、言い方を変えれば日常的な空間にたばこ臭がなく、禁煙が徹底されてきた証拠である。



横倉義武会長は、このほど「2025年国際博覧会誘致特使」に就任することになり、昨年12月21日、日医会館を訪れた山野内勘二外務省経済局長、武田家明博覧会推進室長らから委嘱状が手渡された。

政府は、現在、2025年の国際博覧会を大阪・関西に誘致することを目指して、活発な活動を続けている。今回の博覧会は「いのち輝く未来

横倉会長が「2025年国際博覧会誘致特使」に

厚生労働大臣賞・東芝メデイカルシステムズ、片田和広藤田保健衛生大学医学部名誉教授、遠藤真広医用原子力技術研究振興財団常務理事、経済産業大臣賞・東京女子医科大学先端生命科学研究所、早稲田大学先端生命科学センター、日本医療研究開発機構(A.M.E.D.)理事長賞・西増弘志東京大学大学院理学系研究科助教、木村建次郎神戸大学大学院理学研究科准教授、武部貴則横浜市立大学大学院医学研究科准教授、橋口隆生九州大学大学院医学研究科准教授

電子書籍アプリ「日医Lib」好評配信中！
『日医雑誌』特別号の最新刊もフルカラーで読めます

電子書籍配信サービス「日医Lib (日本医師会 e-Library)」で読むことができる電子書籍が440を超えました。今後もコンテンツの充実に努めていきますので、ぜひ、ご活用下さい (詳しくは、「日医Lib」で検索)。

配信コンテンツ 拡大中!

今回の特使就任の依頼は世界医師会長として、世界各国の要人のネットワークを有する横倉会長に、誘致に向けた更なる協力を求めるために行われたものである。

日医Lib 日本医師会 e-Library

電子書籍配信サービス「日医Lib (日本医師会 e-Library)」で読むことができる電子書籍が440を超えました。今後もコンテンツの充実に努めていきますので、ぜひ、ご活用下さい (詳しくは、「日医Lib」で検索)。

伸弥氏(京大IPS細胞研究所長・教授)が就任している。当日、委嘱状を受け取った横倉会長は、「いのち輝く未来」というテーマがとても良いと思っ

第4回医師たちによる クリスマス・チャリティコンサート

医師たちが日頃の練習の成果を披露



「第4回医師たちによるクリスマス・チャリティコンサート」が昨年12月10日、日医会館大講堂で開催された。

本コンサートは、横倉義武会長の発案により、(1) 難病等の疾病に苦しむ患者及びその家族の方々に支援する、(2) 医師が診療だけでなく、

芸術など多面的な分野で活躍していることを広く知ってもらおう場を設ける——ことを目的として、平成26年から行われているものである。

冒頭あいさつした横倉会長は、「本コンサートは毎年ご好評を頂いており、今回も開催することができた。ご協力頂いた

皆様方に感謝申し上げる」と述べるとともに、「会場にお越し頂いた方にはぜひ最後まで楽しんで頂きたい」と呼び掛け

川梅代常任理事がマハヤナ学園撫子園の子ども達と共演。サンタクロースに扮した横倉会長もサプライズ出演した。

なお、今回のコンサートは、460名の来場者があり、当日の来場者並びに事前に企業・団体等から寄せられた寄付金307万4332円は、全額、「認定NPO法人国境なき医師団日本」「認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワーク」「認定NPO法人SOS子どもの村JAPAN」「国立成育医療研究センターもみじの家」「マハヤナ学園撫子園」「社会福祉法人カリヨンジどもセンター」に寄付することになっている。

「国際会議」

・午後2時〜5時

・オンラインピック・パラリンピックが全ての人々の健康にどのような良い効果をもたらすことができるかを論じ、未来に続くレガシーはどのようなものかを提言する。

案内

日本医師会 ハーバード大学 武見太郎記念国際シンポジウム

◆主催：日医、ハーバード大学公衆衛生大学院、東京大学公衆衛生大学院、東京大学公衆衛生大学院、東京大学公衆衛生大学院、東京大学公衆衛生大学院

◆参加費：無料

◆主なプログラム

- ◆基調講演1「社会的不平等軽減のための健康政策」(サー・マイケル・マーモット世界医師会元会長/ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン疫学教授)
- ◆基調講演2「ユニバーサル・ヘルズ・カバレッジをめざして：一歩一歩

◆日時：2月17日(土) 午前9時〜午後5時

の進歩」(マイケル・ライシユハーバード大学公衆衛生大学院武見国際保健プログラム主任教授)

◆基調講演3「世界医師会の貢献」(横倉義武会長/世界医師会会長)

◆セッション1「地域医療と健康長寿：少子高齢社会、日本の経験」

◆セッション2「地域と世界をつなぐ、ベイノーション」

◆セッション3「地域医療の国際展開を支える枠組み」

※なお、これに関連して二つの会議を下記の要領で開催するのでご参加願

◆日程：2月18日(日)

◆場所：東京都医師会館講堂

◆参加費：無料

◆「武見プログラム設立35周年フォーラム」

・午前10時〜午後1時

・「少子高齢社会の健康格差是正」をテーマとして、武見プログラムによる35年間の国際保健への貢献を基に、さまざまな分野で活躍する武見フェローの活動の現状を共有し、将来の展望について議論を行う。

◆「2020年東京オリンピック・パラリンピックのレガシーとしての健康・タバコフリー社会づくりに関する国際会議」

◆申込方法：本シンポジウムのホームページ(www.jmha-takeni.com)内の参加申し込み専用フォームに、必要事項を明記の上、申し込み願いたい。

◆問い合わせ先：日医国際課

(TEL) 03-3942-6489 (直) jinainti@po.med.or.jp

南から北から

徳島県
徳島市医師会報
第29号より

ラジオ世代

鎌田 光二

近頃、ラジオの人氣が下降気味であるという。特に、若い人達に人氣が無いらしい。

私が覚えている最初のラジオ番組は、小学校低学年の頃に聞いていた「赤胴鈴之助」である。随分後になって、吉永小百合が出演していたのを知ったが、「チョコザイン小僧め、名を名乗れ」「赤胴鈴之助だあ」は懐かしいフレーズである。

時代の流れでもあったのか、ラジオの製作にもはまり、ゲルマニウムラジオ(鉱石ラジオ)、トランススタラジオ、真空管ラジオなども作った。

「大学受験ラジオ講座」ハリス先生の「100万人の英語」などにもお世話になったが、深夜放送最盛期に多感な青春時代を過ごした私は、「オールナイトニッポン」「バックインミュージック」「セイ・ヤング」などで、人氣絶頂の芸能人

やミュージシャンの放送を寝る間も惜しんで聞き、エアチェックにも夢中になった。モコ・ピーパー・オリブ、タモリ、あのねのね、笑福亭鶴光、吉田拓郎など。

「ラジオは脳に効く」との意見も見られる。

このように素晴らしいことばかりのラジオも2013年のビデオリサーチでは全く聞かない人が34パーセントを占め、その理由は興味が無い、ネットやテレビの方が面白いとのことであった。

そこでラジオ業界も、「Podcast」「Radio」

大分県
大分市医師会報
第753号より

わが家に子犬がやってきた!

川野 達也

私は犬が怖い。医学的には恐犬症(Cynophobia)と言いたい。物心ついた頃から犬を見ると底知れぬ恐怖に襲われる。

医学部時代に友人と街を歩いていた時、事もあろうに放し飼いの犬が通り角から現れ、私達の方に駆け寄ってきた。私は一目散に逃げたが、歩道の段差で転んで大けがをした。しかも、転んだ拍子に新調したばかりの革靴の底が完全に剝がれて抜けてしまうという始末。友人は犬をナデナデして制止し私を守ってくれたが、腹を抱えて笑い転げていた。しかし、その様子を目撃して以来、私の犬恐怖症が本物だと理解してくれただけで、

「子ども達が犬を飼いたいと言うので、今日予約しました。ヨークシャーテリアの子犬です。」

「★らじる」など、ネットとの結びつけで巻き返しを図り、PCやスマホでラジオ番組が楽しめるようになった。民間放送と同一年のラジオ世代である私にとっては夢のようなことで、ラジオ以外の装置で、それも日本各地の放送局、最近では過去1週間にさかのぼった放送まで聞けるようになり、ますます楽しみが増えた。

もちろん、この原稿も聞きながら書いている。

決である。

医学部の同級生である妻は、学生の頃から私の犬嫌いは良く知っているはずなのに、一体どういうつもりなのか。そう言えは、彼女の妻は以前から犬を飼っていた。結婚前に実家に招待された時、玄関にお犬様が鎮座しており、私は門をくぐることもできず、右往左往している様子を見て妻はニヤニヤ笑っていた。

「そんなんで見ている訳じゃないんや。こっちは一大事なんや」と言いたい気持ちをグッと抑え、「この犬は川野が

予約している犬ですか?」と問うと、「そうです。あっ、もしかしてこの子の飼い主さんですか?」

私がその質問に回答する間もない素早さで店員はキーシの鍵を開けて、「良かったね、パパが見に来てくれたよ。ハイ、抱っこしてもらって」と言いつつ、犬恐怖症の私の胸に子犬を渡してきた。500グラムくらいしかない子犬を落とせば命の保証はない。私は身動きもできないまま血の気が引いていくのを感じた。40年以上、犬なんて触ったこともない私の胸に犬がいる。心臓はバクバク。卒倒しそうな私の子犬に気づき、店員は子犬をケージに返してくれた。

その翌週、本当にわが家に子犬がやってきた。片手で抱ける程小さい彼(オスである)に、私はかなりビビっていた。何とか悟られないように平静を装い生活していた。程なくして、彼は私を群れの一員と理解し、私にもしっぽをフリフリするようになった。

「犬嫌いには懐かないんだけどね」と妻は言うが、彼は私を飼う主の一人として認識しているようだ。

私のPTSD克服プログラムは、彼の愛くるしさゆえ順調に進んだ。もうすぐ5年が経とうとしているが、今では思春期真っ最中の長女・長男よりも「愛犬」の方が私の相手をしてくれている日々。抱っこはもちろん、もうペロペロされても大丈夫。四十にして犬に惑わす。

先日、中学生の長男が、アレルギー性鼻炎がひどいので耳鼻科で血液検査を受けた。その結果、イヌ上皮の特異的IgEがクラス6(最高値)と判明。本物のイヌアレルギーの長男とイヌアレルギーを克服した私。人生とは何とも不思議なものだ。(一部省略)

宮城県
仙台市医師会報
No.637より

学生実習

綿谷 秀弥

医学部5年生の開業医実習を2週に一度続けて受けている。やってくる医学部の意識、意欲はかなりの差がある。この数年で記憶に残った学生について。

6年前に来たA君。必ず私からする質問は「なぜ医師になりたいと考えるか」とある。大概の学生は「医師の仕事は人のためになり……うんぬん」という予備校で習った模範解答のような返事をするが、彼は違った。彼は「本当は、私は口下手で対人恐怖症があり、客観的に見ると医師、特に臨床には向いていないと思う。将来は基礎研究を考えているが、医師免許が取れたとしても使うことはないかも知れない。ただ、医師免許が無い」と研究に支障があると聞いたので」と言った。

私は意地悪かも知れないが、「最初から基礎に進んだ方がよいのでは」と

勤務医のページ

近畿大学医学部リハビリテーション医学教授／
大阪府医師会理事／日医勤務医委員会委員
福田寛二

医師の働き方改革



日本は世界に冠たる長
寿国であり、長きにわた
り国民皆保険を維持して
きたことは、誇るべき事
実である。これはひとえ
に先達医師による献身的
努力の賜物であり、この
制度は我々日医会員が永
劫に堅持すべきものであ
る。

しかしながら、最近こ
のシステムを根本から揺
るがす議論がなされてい
る。「医師の働き方改革」
である。

初めに、医師の職制に
関する個人的な考え方を
述べる。

医師は聖職であり、患
者の安寧が一義で、その
ためには日々の研鑽は当
然の責務である。この考
えも、ややオールドファ
ッションとなっているよ
うだ。

この議論の背景には、
企業における労働者の過
労死が社会問題となり、
政府による働き方の見直
しが開始されたことが挙
げられる。

平成28年末には、「医
師の勤務実態及び働き方
の意向等に関する調査研
究班」による勤務実態調
査が行われた。ここでい
う医師の勤務時間に、「診
療時間以外の待機時間・
自己研鑽の時間を含むの
か」が現在の争点となっ
ている。

大学病院のような教育
研究機関において、勤務
時間をどのように考える
かも大きな問題である。
更に新たな専門医の仕組
みを通じて、医師偏在に
も議論は波及している。
病院の経営的側面を鑑み
ると、収拾がつかなくな
っている感すらある。

本稿では、これまでで
語られることの少なかつ
た「働き方改革」の問題
点を挙げてみたい。

第一は、基礎医学の衰
退である。

iPS細胞開発により
もたらされた再生医療
は、ようやく臨床現場に
届こうとしている。これ
に加え、ゲノムやビッグ
データに代表されるイン
ノベーションは、医学にパ
ラダイムシフトをもたら
そうとしている。

この黎明期において、
医療現場を知る若手医師
の基礎医学への参画は、
医学の進歩にとって必須
である。

その主力となる大学院
生は、働き方改革の中で
どのような立場となるの
であろうか。

もちろん、志ある若手
医師は労働時間の枠を越
え、研究に打ち込むであ
ろう。しかし、労働時間
を厳密に適応しようとし
れば、研究室の明かりを
消される状況も想定され
る。周囲も基礎研究の重
要性を理解し、集中した
研究が行える環境が確保
されるのが、重要なポ
イントである。

第二は、タスクシフテ
ィング（タスクシエアリ
ング）の盲点である。

医師数を増やすことな
く、その業務負担を減ら
し、本来の業務に専念で
きる体制づくりは歓迎す
べき方向である。

現在でも、メディカル
クラークの導入など、大
きな成果を上げているこ
とは事実であり、タスク
シフティングは過重労働
解決の切り札となる。

しかし、「医師による
当直業務」は、医師にし
か遂行できない。当直時
間のどこまでを拘束時間
（超過勤務）とするかは、
今後の議論に委ねたい。
だが、その間も医療の専
門化・細分化に伴う業務
量は膨大となっていく。
タスクシフティングを
有効に活用するには、多
職種が協働するIT技術
の活用は必須である。し
かし、そのポテンシャル
を医師が使いこなせるか
が問題となる。私自身、
電子カルテの豊富なサポ
ート機能のほんの一部し
か使えていない現状であ
り、少しでも個人の生産
性が上がらないか、反省
の日々である。

第三は、医師のジェネ
レーションギャップであ
る。

冒頭の「医師は聖職で
あり、患者の安寧が一義
である。しかも、先達を
含め、多くの医師に共通
の認識であり、国民もそ
うに理解している。」
一方、現在の初期研修
制度に身を置く医師は、
「労働者」として厳密に
勤務時間が規定されてい
る。

そのため、定刻になれ
ば帰宅し、残りの業務は
指導医が引き受けるの
は、多くの現場で見られ
ることである。

そのような中で、研修
医はというと、当直明け
の勤務が医療事故の誘発
につながることが教えら
れている。

勤務医のひろば

男女共同参画目指して

—子育て外科医の立場から—

岩手県立中央病院乳腺・
内分泌外科医長／岩手県医師会女性医部会幹事 梅邑明子



岩手県の医師不足は深
刻で、県医療局は医師確
保対策や医師サポートに
力を入れている。

その一環として、県立
病院では、産休・育休、
当直免除、短時間勤務制
度、育児部分休業、24時
間院内保育所などの育児
支援制度が整備されてい
る。

一般外科医として研修
を始め、5年目で第1子、
8年目で第2子を出産。
その後、乳腺外科に入っ
た。

東北地方ではまだまだ
乳腺専門医は少なかった
こと、乳がん患者さんか
ら女性医師のニーズがあ
ったことがきっかけであ
った。

夫は他病院の外科医、
育児支援とは程遠く、月
くりが必須であり、仕事
の効率化も当然これに含
まれるが、その構築には
相当の時間がかかる。現
行の5年の猶予期間で
育

10回以上の当直の他、術
後管理などで病院に泊ま
ることも多い。双方の両
親は県外在住、ワンオペ
育児である。

育児支援制度や上司・
同僚に助けられ、外来、
手術、病棟などの診療業
務、学会発表や論文など
の自己研鑽を継続し、乳
腺専門医を取得した。

女性医師は増加傾向
で、若い世代では3割を
超える。育児支援制度の
みが拡充していけば、子
育て中の女性医師以外へ
の負担はますます増え
る。

また、マンパワーがな
ければ育児支援制度その
ものも機能しない。

子育て中でも仕事を軽
減するだけでなく、継続
してキャリアアップでき
る。

昨年第3子を出産し
た。子ども自身にも人権
があることを忘れてはな
らない。

は、とても解決できると
は思えない。

少なくとも、病院とい
う組織で指導的立場にい
る医師は、自らの労働時
間に配慮し、自らが健康
であること、更に、他の
医師の働き方についても
無頓着であってはならな
い。

「医師の証明が できます」

一面接採用時に使える医師の身分証—

医師採用時、医師資格証（HPKIカード）を、
医師免許証の代わりとすることができるように
なりました。詳しくは、当センターホームページ
の2017年12月22日付NEWS欄をご覧ください。



詳しくはホームページをご覧ください。
日本医師会 電子認証センター 検索

日本医師会 電子認証センター